



南アフリカ通信

No.20(2024.3)

JICA 海外協力隊〔2022 年度 1 次隊〕
小学校教育 北川裕介



最終号

今月、JICA 海外協力隊としての任務を終え日本へ帰国します。2022 年 7 月から続いたこの「南アフリカ通信」もこれで最終号になります。これまで通信を読んでいただき本当にありがとうございました。

通信を通して、少しでも南アフリカやシロアム小学校のことを知ってつながりを感じたり、世界の課題に目を向けてみようと思ってもらえたりしたなら、こんなにうれしいことはありません。

最終号は南アフリカでお世話になった人たちやお気に入りの写真、そして思い出を紹介します。山ほどあるので、たくさん紹介したい気持ちでいっぱいですが、ページにも限りがあるので厳選させていただきました。選ぶのも一苦労でした・・・。



Heritage Day（文化遺産記念日）の行事で撮った写真。
ヴェンダの伝統衣装がすてきです！



シロアム村で撮ったお気に入りの一枚。兄妹や友達と
手をつないで帰る様子に気持ちがあたたかくなりました



活動最終日に先生たちと撮った集合写真。シロアム小学校の
一員としてともに働けてよかったです。出会いに感謝です。



7年生の授業後に撮った写真
いつも明るく元気いっぱいの子もたちでした！

思い出ランキング

うれしかった編

【1位】九九を覚えられた児童生徒が増えた！



途中であきらめてしまう子もいた中、最後まで一生懸命がんばりました。達成者には折り紙で作った花をプレゼント！

【2位】村の一員としてやさしく接してくれた。



今では村中の人に名前を呼んでもらえるようになりました！いつも気にかけて声をかけてくれてうれしかったです。

【3位】南アフリカのいろんな場所に訪れることができた。



この写真は世界遺産の「マプングベ国立公園」で撮りました。大きなバオバブの木と夕日の風景が壮大で美しく、忘れられません。

大変だった編

【1位】1週間高熱&1時間半かけて病院へ。



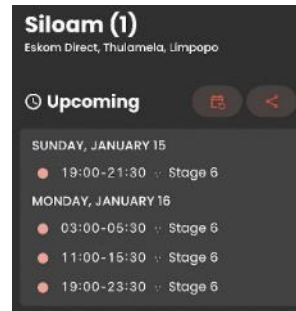
初めてマラリア検査キットを使いました。自分で指に針を刺し、血を出すのは勇気がいりました。結果、インフルエンザでした。

【2位】ライオン（赤ちゃん）に噛まれて狂犬病ワクチンを打ったこと。



ライオンと散歩できるツアーで、赤ちゃんとも触れ合いました。甘噛みで、飼育員も大丈夫だと言っていました。念のため受診しました。

【3位】ほぼ毎日起きる停電（慣れてきたとはいえ不便・・・）



現在の南アの電力不足は深刻で、ほぼ毎日計画停電が行われます。左の写真は、その時間と長さが分かるアプリ。ステージが上がるほど、長時間停電になります。

あとがき

「いつか世界を変える力になる」と勇気を出して挑戦した海外ボランティア。大変な思いもしたし、うれしかったことや楽しかったこともたくさんありました。開発途上国の人たちのためにできたことはほんの小さなことでしたが、「自分にできること」は最後まで精一杯やり切ったと自信をもって言えます。たとえ小さなことでも、それが誰かの大きな一歩を踏み出すきっかけになれたのなら、それも十分に「世界を変える力」であったと思います。現地の人たちとともに暮らした1年8か月、彼らの優しさや支えがあったからこそ最後までがんばることができました。ここでの経験は一生の宝物です。そして、この経験を少しでも社会や未来を担う子どもたちに還元していきたいと思っています。おしまい、私の背中を押してくれた JICA 海外協力隊ポスターの言葉を紹介します。この先も大切にしたい勇気をくれる言葉です。

“世界を変えてきたのは、いつの時代も、たったひとりの強い想いだ。”